

月刊
JMITU

オホカ



「放し飼い」

1月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2018年発行

No.397

2018年春闘

すべての仲間の大幅賃上げで

実質賃金向上と格差是正を勝ち取ろう！

「アベノミクス」にいくら期待しても暮らしも景気も良くならない

大企業は「アベノミクス」を利用して儲けても賃上げにまわさず金融投資などのために内部留保を増やしています。

一方、政府は年金資金を株式投資するなどして株価を吊り上げ、ひと握りの富裕層をより儲けさせるのと同時に株価の上昇を「アベノミクス」が成功したように宣伝しています。

こうしたルール無視の経済政策で株価や土地価格が上昇し、日本経済バブル化の危険が高まっています。

さらに消費税10%に増税されれば国民の暮らしと日本経済が破たんしかねません。

安倍政権発足以降、労働者の実質賃金は4年間で4%も下落し、年収200万円以下のワーキングプアと言われる労働者が1132万人まで膨れ上がりました。

その背景には不安定な雇用を強いられる非正規労働者が207万人も増える一方、正社員は22万人しか増えていない事にあります。

安倍首相は経済財政諮問会議で、財界に対して3%の賃上げを要請し、経団連会長は「社会的要請と認識している」と発

言しています。

いまや政府や財界も日本経済の為には、賃上げが必要であることを否定できません。

まともな日本経済を取り戻すには、年金の改善などの社会保障を充実させることと、すべての労働者の大幅賃上げが必要です。

また、社会保障の財源は、株取引の課税額の引き上げや法人税減税をやめさせ、税の応分負担の原則を実行すれば確保できます。

賃金の生計費原則

・労働者自身が毎日元気で健康に働ける為の衣食住がまかなえる賃金でなければならない

・次世代労働者をつくるためにも結婚し子供を産み育て家族みんなが生活できる賃金でなければならない

・労働者が就労にあたって、きちんと仕事ができるだけの教育費用をまかなえる賃金でなければならない事の3つが柱で、賃金は「生計費」をまかなえる水準でなければならない事です。

90年代以降、春闘解体の攻撃が強まる中で賃金の生計費原則が否定され、「賃金は成果や業績で決まる」という考え方が押し付けられています。

それは労働組合が春闘を通じて勝ち取ってきた憲法25条の「生存権保障」（人間らしく生活する権利）や28条の「労働基本権」（賃金・労働条件は労働組合との協議を通じて決定されるべき）の理念を真つ向から否定するものです。

「賃金は企業利益の分け前ではない」という事を、念頭に置き、今春闘もがんばりたいと思います。

消費税法30年

税のゆがみ深刻化 続く消費不況

安倍晋三政権が現在の消費税8%から10%への引き上げを来年2019年10月から強行することを公言し、「リーマン・ショック」

級の経済変動でも起きない限り、1年前になる今年秋までに予定通りの実施を決定しようとしています。

安倍政権がしきりに景気の「回復」を宣伝するのもその準備の表れです。

消費税は30年前の1988年に導入が決まり、89年4月からまず3%で実施されました。その後5%から8%へと、増税を繰り返しており、導入強行から30年を

2けたの税率を決める年に

することは許されません。

10%への増税は中止すべきです。

10%増税はなぜ中止しなければいけないか？

税金は直接税が中心で、負担

能力に応じた応能力なものにすべきだという戦後税制の大原則を踏みにじって、大型の関節税を導入しようという策動

は、自民党の長期政権のもと60年代から繰り返され79年には当時の大平正芳政権が5%の「一般消費税」を導入しようとしています。総選挙で自民

党が敗れ、中止に追い込まれた。

その次の中曽根康弘政権は「大型間接税は導入しない」といいながら、「新型」の間接税だと87年に5%の「売上税」導入を持ち出してきましたが、国民の反発でこれも実現しませんでした。

その後、88年に竹下登政権が税率3%の「消費税」導入を決定しようとした際にも国民が猛反対し、それを押し切って、年末の国会で自民党が強行採決し、成立させたというのが経過です。

暮らしも経済も破壊する

大型間接税の導入にあたって自民党などは「広く薄く課税」する「社会保障の安定した財源だ」などといいましたが、原則としてあらゆる商品やサービ

スに課税される税が低所得者ほど負担の重い逆進的な税金なのは明らかで、社会保障を賄う財源としてこれほどふさわしくないものではありません。

自民党などは直接税と間接税の比率を「是正」すると言って消費税を押し付ける一方、法人税や所得税については大企業や大資本家に有利なよう減税を繰り返した為、消費税による税収のほとんどはその穴埋めに回り財政再建にも役立っていません。

消費税導入当時50%を超え安倍政権発足時にも37%だった国税と地方税と合わせた実効効率は今では30%を下回っています。

安倍政権になってから短期間の連続的な大企業減税が行われ減税額は4兆円を超え税制のゆがみの拡大は深刻です。

4こま漫画



川崎よしき





ショートショート

ズドン

仙洞田一彦

七十歳をいくつか越えたK氏は自宅近くの、バス通りにある交番のカウンターにいた。折り畳み椅子に腰掛けて、中年で丸顔の、人のよさそうな感じのお巡りさんと向き合っていた。

年が明けて間もないころ、風もなく穏やかな日の昼下がりに、K氏は何度か交番の前を行き来し、意を決して交番の中に入った。

「どうしました」

丸顔のお巡りさんは、印象通り、優しい声で話し掛けてくれた。そして、折り畳み椅子を出して掛けるように勧めてくれた。

「はあ」

K氏はぺこんと頭を下げると、出された椅子に素直に腰掛けた。お巡りさんはカウンターの端を回り、カウンターの内側にある椅子に腰掛けると、帽子を取って、カウンターの上に置いた。

「どうしました」

お巡りさんは、もじもじしてうつつむいているK氏に、もう一度言った。俺みたいな得体の知れない老人が、飛び込むことがあるだろうな、お巡りさんというのも大変な仕事だ、と同情するような感情がK氏に湧いた。

「お巡りさんにも、お父さんがいますか」

お巡りさんは鷹揚に笑いながら、
「当然。いますよ」

「お元気ですか」

「ええ、元気です。ぴんぴんしています」

お巡りさんが笑顔で答えた。話を聞いてくれそうなお巡りさんで良かったと、K氏は思った。このおまわりさんのお父さんというと、俺と同じか、もう少し上くらいだろうかと推測した。

「わたしくらいの年で」

「ああ、そうですね。そうかもしれません」

お巡りさんは身を引き、あらためて観察するようにK氏を見てから言った。

「ズドンと一発やってもいいたいんです」

K氏はいきなり本題に入った。

「え」

「いや、今すぐではなくって

いいんです。わたしが、何もかも分からなくなった時にです、ズドンと一発やってみよう。垂れ流し、そうなった時。わたしの家はその路地を入ったところにあるんですがね。もし、そんな状態でこの交番の前を行ったり来たりしていた時は、ズドンと一発」

K氏の話を聞いて、お巡りさんは出た腹を揺すって笑い、言った。

「大丈夫、お元気そうです」

「いや、ぽっくり行けばいいですよ。垂れ流し状態になったら自殺もできなくなるでしょう。垂れ流しながらバス通りを行ったり来たりする自分の姿を想像するのは、わたしには耐えられない。お巡りさんも臭くて耐えられない」

「その時になったら、相談に来てください」

さすがのお巡りさんも、ほんの少しいら立ったようだ。

K氏は食い下がる。

「ですから、そうなってからは相談も何もできなくなっ
てしまいます。だから今お願いに
来ていますのです。何が何だか
分からなくなってしまう前に
お願いしておいた方がいいだ
らうと思つて来たのです。垂
れ流しの姿をみなさんの前
にさらすなんて、わたしには
とても耐えられません」

「あなたのお父様は、あなた
のような立派な息子さんがい
られるから、おおらかにして
いられるんですよ。わたしだ
つてあなたのような息子がい
れば、ここには来ませんよ。
分かつてるじゃないですか。
いや、もし、もしもですよ。
万が一、あなたのお父様が垂
れ流しになったらどうします。
失礼なことを申し上げてす
みませんが、万が一、部屋中糞
だらけ——すみません。ご立
派なお父様の、そんな姿を見
るに忍びない。人格者であら
せられるお父様のそんな姿を
見るのは辛いでしょう」

「いや、そのホームですけど、
ひどいところもあるそうじゃ
ないですか。狭い部屋に何人
も押し込んで、徘徊する者は
ベッドに縛り付ける。みんな
で垂れ流し。本人たちは分か
らないからいいですけど」
「分からないならいいじゃ
ないですか。バス通りをうろ
うろするよりはいいかもしれ
ません」

お巡りさんの答えは少しな
げやりになつて来た。
「わたしがそうだった時の姿
をイメージすると耐えられな
いんです。臭いまでただよっ
てきます」
「想像しないようにするんで
すな。そういうのを取越し苦
勞つていうんです。盆栽とか、
没頭できる趣味を見つけるよ
うにした方がいいんじゃない
ですか。きっとそちらの方が
元気で長生きできます」
「わたしも趣味を探してみま
す。お巡りさんのお勧めに従
います。でも、もし、わたし
のそういう、つまり垂れ流し
ですね、そういう姿を見たら、
すぐにズドンと一発。わたし
は感謝こそすれ、恨むことな
ど決してしません」
「そうですね。それなら、い
つそのこと、今でもいいんじ
やないですか」
お巡りさんは不意に怖い顔
をして、カウンターの上にあ
つた右手を下ろした。K氏は、
拳銃を抜かれるかと思つて身
を反らせた。そのK氏を見て
お巡りさんが言った。
「そういう話、あまり他人に
しない方がいいんじゃないで
すかねえ」

2018年春闘アンケート

安倍政権が財界に3%の賃上げを要求しました。

日本の労働者の賃金は1997年をピークに下がり続けています。

安倍政権が誕生した2014年からみても実質賃金は4%も下がっています。3%程度の賃上げでは、生活改善などできません。

安倍政権が財界に賃上げを口にする背景には、国内消費の低迷や深刻な人手不足があります。大幅な賃金底上げなしには日本経済を立て直すことはできません。

私たち労働組合は、18春闘で労働者の大幅賃上げの要求を経営者に示すために春闘アンケートを実施しています。ご協力お願いします。

下記ホームページにて

2018年春闘アンケートを行っています！

匿名で簡単なアンケートです。ぜひお答え下さい！

<http://www.jmiusega.com/>

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>

労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ（パワハラ）をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU（日本金属製造情報通信労働組合）は、全国組織の労働組合です。正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。ぜひ職場に労働組合を作りましょう！